令和４年度　第４１回卒業証書授与式式辞

花の香りただよう、春の息吹を感じさせる今日の良き日、保護者の皆様のご列席を賜り、ここに埼玉県立三郷北高等学校　第４１回卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

只今、卒業証書を授与されました卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三郷北高校での３年間を終えた門出を心からお祝い申し上げます。

思えば、３年前、コロナ禍での入学式を実施するかについて、前校長が中止という苦渋の決断を下したことを、私は教頭として立ち合いました。

令和２年４月７日に緊急事態宣言が出され、５月末まで臨時休業となりました。果たして友だちはできるだろうか、勉強についていけるだろうか。不安の中で始まった高校生活。

６月、分散登校を経て、通常登校が始まりましたが、マスクの影響もあり、クラス全員の顔と名前が一致するようになったのは、夏休み間近になってからでした。

こうしてスタートした皆さんの高校生活は、新型コロナウイルスに翻弄された３年間でした。１年次の学校行事はすべて中止となりました。しかし、先生方と皆さんが知恵を絞り、中止となった文化祭の代わりに文化部発表会を開催しました。

高校のメインイベントである修学旅行。中学校での修学旅行が中止となった生徒がいるため、何とか実施できないかと考え、沖縄３泊の修学旅行を石川方面２泊に変更して実施できたことは、教職員、生徒にとって、思い出に残る修学旅行になったと思います。

最終学年となった今年度、５月の遠足は学級閉鎖で中止となりましたが、１１月に実施できました。体育祭と文化祭も一定の制限はありましたが実施することが出来ました。やっと学校生活に灯りが見えてきました。そして本日、保護者の皆様のご列席のもと、卒業式を迎えました。不安だらけの高校生活でしたが、そこには皆さんを支えてくれた人がいます。皆さんの後ろに。卒業生の皆さん、静かに立ってください。後ろを向きましょう。感謝の気持ちを込めて、保護者の皆様にお礼をしましょう。卒業生、「礼」。前を向いてください。続いて、この卒業式への参加が叶わなかった福田貴司先生に卒業を報告します。埼玉県立三郷北高等学校第４１期生２５６名は、本日、三郷北高校を卒業することを報告いたします。静かに座ってください。ありがとうございました。

保護者の皆様、成長したお子様の姿を見て、感慨深い気持ちがある一方、憤りを感じるほどの反抗に涙するなど、ご苦労があったことと思います。しかし、どんな時でも見放さずに見守ってくださったこと、また、三郷北高校の教育にご理解とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、Ｚ世代という言葉を聞いたことがあると思いますが、ここ数年で、日本でもＺ世代への関心が高まってきています。年齢的には１９９０年代半ばから２０１０年代に生まれた若者たちのことです。これからの社会の中心となっていく世代で、デジタル機器やＳＮＳを使いこなすＺ世代を無視することは、これからの政治やビジネスにとっては、大きなリスクにつながると言われています。また、Ｚ世代は、社会問題への関心が高い傾向にあり、環境問題やロシアのウクライナ侵攻にも反戦の声を上げるなど、今、Ｚ世代の動きが世界で広まっています。昨年１１月のアメリカ中間選挙にも大きな影響を与えたと言われています。

皆さんは、まさにＺ世代です。世界を見渡すと、戦争が始まりました。１年以上続いています。多くの人の命が奪われています。差別、貧困、様々な問題が溢れています。コロナ禍も３年も続いています。これからも世界に目を向けてください。皆さんが生きていく世界が、皆さん一人ひとりの力によって平和の灯りが見えてくること、皆さんが活躍できる世界になることを信じています。卒業生の皆さん、「私がこの世に生まれてきたのは私でなければできない仕事が何かひとつこの世にあるからなのだ」というメッセージを送ります。

結びに、保護者の皆様には、この三年間、三郷北高校のＰＴＡ活動や学校行事を通じて、多大なご支援、ご協力を賜りましたことに、改めて感謝申し上げるとともに、卒業生の皆さんの今後のご活躍を祈念して式辞といたします。

令和５年３月９日

埼玉県立三郷北高等学校長　石井　和男